

平成28年度 島木赤彦研究会夏季研修報告

島木赤彦研究会

1. 島木赤彦研究会総会および講演会

(1) 実施日時 平成28年7月30日(土) 10:00～16:00

(2) 会場 諏訪湖博物館・赤彦記念館

(3) 参加者 9名(教育会会員1名・退職会員4名・一般4名)

(4) 講師 丸茂 伊一(「ヒムロ」選者)

(5) 実施内容

①講演会 「歌壇はいまーそして」

②情報交換会(懇親会)

(6) 参加者の声



- ・赤彦のお膝元である諏訪でも最近は自由律短歌が流行しているが、赤彦が大事にしてきた定型を基本に短歌を考えたいという考えに賛同できる。
- ・自由律か定型かという議論は久しいが、作品で勝負すべきである。
- ・自由律短歌を短歌として認めるかどうかは、読者が決めることではないか。
- ・懇親会の場でも議論が続き、とても有意義で楽しい会になった。



(7) 成果・反省など

- ・「アララギ」廃刊後、その流れをくむ「ヒムロ」の編集に長く携わり今も選者として活躍しておられる丸茂先生に現在の歌壇について具体的にお話をさせていただくことができた。
- ・実際に短歌の創作をしている一般の方にも何名も参加していただき、いい刺激となった。
- ・参加者が昨年より若干増やすことができてよかった。来年度も魅力ある内容計画し、さらに参加者を増やす努力をしたい。

2. 島木赤彦研究大会

(1) 実施日時 平成28年8月28日(日) 13:00～18:00(予定)

(2) 会場 諏訪湖博物館・赤彦記念館

(3) 講師 實藤恒子先生(第18回 島木赤彦文学賞受賞者)

・短歌結社「新アララギ」・「ヒムロ」選者, 編集委員)

(4) 実施内容

①島木赤彦文学賞受賞式(今年度は新人賞の該当者はなし)

②講演会 演題 「震災, 原発の歌と向き合って —吉田信雄の場合—」

③総会

④情報交換会(懇親会)